

表彰式・記念講演

第
43
回

大阪科学賞

参加
無料

2025 11/8 SAT 14:30~
16:30

場所 大阪科学技術センター
8階大ホール

※オンラインでもご参加いただけます。

未来を創る研究者が
ここから世界へ羽ばたく

大阪科学賞は、大阪府・大阪市および一般財団法人大阪科学技術センターの三者が、大阪21世紀計画のスタートにあわせ、1983年(昭和58年)に創設したものです。近畿地域において、科学技術の研究・開発に貢献された若手研究者(50歳以下)を対象に、毎年2名の方に本賞を授与しています。

受賞者の業績は、その後ノーベル賞を授賞されるなど世界的にも評価されています。

受賞記念講演



卵子の老化の原因解明と
抑止技術の開発

きた じま とも や
北島 智也氏

理化学研究所 生命機能科学研究センター
副センター長・チームディレクター

次世代の起源となる細胞である卵子では染色体数異常の頻度が高く、それは母体の加齢とともにさらに上昇します。この現象は卵子の老化とも表現され、不妊、流産、そしてダウン症など先天性疾患を持つ出生の原因です。なぜ、次世代のために最も重要な細胞の一つである卵子が異常になりやすいのでしょうか。動物モデルの卵子における染色体の動きを生きたまま撮影・追跡することで、卵子への染色体分配エラーの時空間経路が明らかになりました。この経路を修正できる生体分子マイクロマシンを設計することで卵子の染色体数異常を防ぐための技術開発が始まっています。これらの研究から、卵子に映し出される生命の不完全性の不思議を解いていきます。



世界を照らす
ホウ素の発光材料

はたけ やま たく じ
畠山 琢次氏

京都大学大学院理学研究科
化学専攻 教授

ホウ素は炭素の隣にある第13族元素で、ガラスの材料となる「ホウ砂」や、防虫剤に使われる「ホウ酸」として利用されています。また、シリコンにホウ素を少量加えるドーピングは、スマホやパソコンの心臓部で欠かせない技術です。一方で、ホウ素と炭素の結合は壊れやすく、ホウ素を含む有機材料は実用が困難でした。そこで私たちはホウ素を窒素と共に分子内部に組み込むことで安定化させ、さらに、その配置の工夫によって電子の存在場所を精密に制御しました。この設計から生まれた発光材料は史上最高の色純度と十分な安定性を持ち、現在、世界中の有機ELディスプレイに使われています。本講演では、こうしたホウ素の性質と研究開発の道のりについてご紹介します。

プログラム

14:00 開場
14:30 表彰式
14:50 休憩
15:00 受賞者記念講演
16:30 終了

お申し込み

ホームページの申込みフォームよりお申込みください。FAXの場合は裏面に必要事項をご記入の上、下記FAX番号宛てにお送りください。

HP ▶ <https://osaka-prize.ostec.or.jp> FAX ▶ 06-6443-5319

※オンラインはZOOMを利用いたします。※テクニカルなサポートは致しかねますのでご了承ください。
※掲載しました個人情報は、大阪科学賞運営委員会事務局が責任を持って管理し、本賞の運営以外に使用することはありません。
※ご来場希望者が多い場合は受付順とし、制限数に達した場合はオンラインでの参加をお願いする場合がございます。



会場

大阪科学技術センター 8階大ホール
〒550-0004
大阪市西区靱本町1丁目8番4号



お問合せ

大阪科学賞運営委員会事務局
E-Mail ▶ o-kagakusyou@ostec.or.jp TEL ▶ 06-6443-5322

主催：大阪府、大阪市、(一財)大阪科学技術センター 共催：(公財)千里ライフサイエンス振興財団

大阪科学賞運営委員会事務局行
 大阪科学賞表彰式・記念講演参加申込書

所属機関名

申込代表者名

TEL

FAX

E-MAIL

ご参加方法
 ご希望の方に○をお書きください。

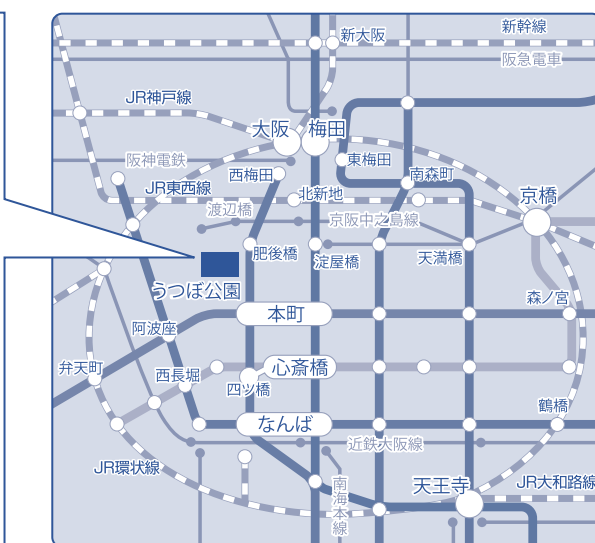
ご来場参加 ・ オンライン参加

氏 名	所 属 ・ 役 職	備 考

※ご記入頂きました情報は、大阪科学賞の運営以外に使用することはありません。

事前質問欄

大阪科学技術センター (OSTEC) へのご案内



- 大阪方面よりお越しの場合
 - ▶大阪メトロ四つ橋線「本町」駅下車②番出口より北へ徒歩5分
- 新大阪方面よりお越しの場合
 - ▶大阪メトロ御堂筋線「本町」駅下車②番出口より西へ徒歩8分
- なんば方面よりお越しの場合
 - ▶大阪メトロ四つ橋線「本町」駅下車②番出口より北へ徒歩5分
 - ▶大阪メトロ御堂筋線「本町」駅下車②番出口より西へ徒歩8分